

「3次元計測技術とデータ活用研修」 の研修員を募集します！【集合研修】

～ ICT 施工で活躍するレーザ測量やドローンなどの先端測量技術を紹介 ～

測量分野においては、無人航空機（ドローン）、地上レーザ、MMS（車載写真レーザ測量システム）等の最先端の技術が導入され、それらにより取得した3次元計測データはICT施工をはじめとする様々な分野で活用されています。

本研修では効率的に測量業務等を行うために必要な、最先端の測量技術や計測データの特性とその品質確保、監督・検査に関する知識等が修得できます。

■研修内容

- ① i-Construction と DX の推進、ICT 施工の監督・検査・事例紹介、無人航空機に係る航空法、3次元データの処理と検査、3次元データを用いた施工、現場に適合した3次元計測、品質確保、公共測量作業規程の講義
- ② 班別討議、実地見学〔MMS 見学、活用事例紹介等〕
- ③ トイドローン操縦体験〔希望者のみのオプション〕

■対象者（定員40名）

国、地方公共団体、独立行政法人等、団体の職員で、3次元計測技術や3次元データ活用に関する知識を必要とする者（役職、経験年数は問わない）

■研修期間・場所・経費

期間：令和6年1月16日(火)～19日(金)4日間

場所：国土交通大学校 小平本校

（東京都小平市喜平町2-2-1）

経費：税込み予定額

食費 1,550 円/日 寮費 1,250 円/日

実地見学費（移動交通費）約 2,000 円

テキスト代 約 16,000 円

■募集期間 令和5年12月5日（火）まで

■研修（実演・演習）イメージ



ドローンの実演飛行



3次元計測機器の実演



トイドローンの操縦体験

〔希望者のみ、授業時間外 17:15 以降に実施予定〕

本研修の詳細につきましては、国土交通大学校のホームページ (<https://www.col.mlit.go.jp>) から【研修紹介】の【令和5年度募集状況一覧（小平（本校））】をご覧ください。

■令和4年度研修参加者の声（概要）

- 実地見学やビューワを利用した3次元データの処理などに実際に触れることで理解を深めることができた（国職員）
- 発注者視点での監督・検査のポイントを理解することができ大変参考になった。（地公体職員）
- 実際に3Dデータを元にICT施工を進めている企業のお話を聞き、作業効率が各段にあがることがわかった（独法職員）

問い合わせ先：

国土交通大学校 測量部

測量企画科 堤、小野垣

直通：042-321-0957

Mail：col-soku-kikaku@gxb.mlit.go.jp